令和３年度　第２回学校評議員会 評議員による質疑・提言

・期　日　令和４年２月16日（水） 14:00～15:30

・場　所　前沢明峰支援学校　多目的ホール

・参加者　学校評議員５名　本校職員７名

（１）質疑

Ａ評議員

質問：小学部のマスク定着指導はどのように行っているか。

回答：マスクを口に入れてしまう児童については二重マスク対応により、口に入れることが少なくなった。また、マスクなしではみんなと一緒の活動ができないということを繰り返しの指導で定着させていった。（小学部主事）

Ｂ評議員

　　質問：NHKハート展について、創作へのモチベーションを高めるために、学校ではどういった対応をしているか。

回答：入賞の期待というより、自分の作品がみんなの目に触れることで喜びを感じ、その後の学習の励みになっており学習の広がりにつながっている。（中学部主事）

Ｃ評議員

　質問：高等部の放課後の部活動はどうなっているのか。

　回答：部活動ではないが希望者の取組として、14名が陸上練習に参加し、各種大会に参加している。（高等部主事）

Ｄ評議員

　質問：4月から始まる「18歳成人」に対する取組は行っているか。

　　回答：選挙への取組ということで、奥州市選挙管理委員会による選挙の仕組みの学習と模擬選挙体験等を行った。（生徒指導主事）

　　質問：高等部卒業予定者の進路として入所型は厳しい状態だと認識しているが、状況はどうか。

　　回答：例年通りかなり厳しい。（進路指導主事）

　　意見：今年度は進路状況の報告等、細かな対応をしてもらい感謝している。

Ｃ評議員

　 質問：予告なしの避難訓練の様子を聞きたい。パニックになったりする児童はいないか。

　 回答：児童の中には泣いたりする子もいるが、パニックになるようなことはない。予告なしの訓練は11月で、訓練はそれまでに何度も繰り返している。

Ｅ評議員

　 質問：高等部卒業予定者の進路未定者２名の状況について知りたい。

　回答：１名は職種のこだわりで就労先が未定となっている。１名は重度の生徒の受け入れ先が見つからないため未定となっている。（進路指導主事）

学校評価について

〇職員の健康管理について

　Ｂ評議員

　　　職員の多忙感や多忙さについては理解できたが、メンタル面を含めた健康管理はどうなって

いるのか。

　　回答：メンタルセルフチェックなども行っている。職員同士で話をする「茶論デー」という日も設けている。（校長）

（２）助言

　Ｄ評議員

　　　虐待防止についての取組は一緒に行っていきたい。職員がお互いの悩みを話し合える環境はよい取組だ。

　Ａ評議員

　　　「強制ではなく自主性を」ということを大事にしていることからも前沢明峰は温かいマネジメントをしていると感じる。細やかに指導していることも感じられる。先生方が元気でないと生徒も元気がでないので、頑張っていただきたい。

　Ｃ評議員

　　　子どものアンケート回答にある「わからない」という数字を大事にしてほしい。本当にわからないのか、先生方に遠慮しているのか書いている意図を理解してほしい。

　Ｂ評議員

　　　職員のストレスや多忙感は学校に限ったことでなく、どこの事業所や施設でも大きいが解消しなければならない問題である。

　Ｅ評議員

　　　周りの大人に余裕がないと、それに子どもも共鳴してしまう。私自身も含め、心に余裕が必要だと感じる。コロナウィルス感染症のため、PTA活動での話し合いの機会がなく残念に思っている。活動を通していろいろな角度で一つの物事をみんなで見ていきたいと思っている。